

LIVE 西日本豪雨 各地の状況ライブ



全国の天気 地震・津波情報

お住まいの地域の避難・災害情報はこちら

LIVE 霧島連山 硫黄山

気象 データマップ 気象 防ごう熱中症

ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です

1 アイドルグループのグッズ購入の列に並んだ女性 熱中症で搬送

2 きょうも命に関わる危険な暑さの見込み 熱中症に厳重警戒を

3 全身の毛が白い子猿見つかる 岐阜 下呂

4 メキシコの殺人事件 過去最悪ペース 半年で1万3700件超

5 50人超が礼拝できる「モスクカー」開発 五輪でのもてなしに

もっと見る

アクセスランキング

この24時間に多く読まれている記事です

遺伝子組み換え作物 誤解ない表示に見直し

2018年7月24日 4時53分

遺伝子組み換え作物を原材料にした食品の表示の見直しの一環として、消費者庁は、混入率が5%以下の場合表示はメーカーなどの任意としたうえで、「遺伝子組換え混入防止管理済み」といった表示例を示していますが、消費者団体は混入していないとの誤解を与えるとして見直しを求める意見書を提出しました。

消費者庁は現在、遺伝子組み換え作物の原材料表示を見直す作業を進めていて、この中で表示が義務づけられていない混入率が5%以下の食品について、表示はメーカーなどの任意としたうえで、「遺伝子組換え混入防止管理済み」や「遺伝子組換えの混入を防ぐため分別」といった8つの表示例を示しています。

これに対し、こうした表示をどう受け止めるかについて、消費者団体の「食のコミュニケーション円卓会議」が2000人余りを対象にアンケート調査したところ、「遺伝子組換え混入防止管理済み」という表示は、70%の人が遺伝子組み換え作物が入っていないと思うと答えたほか、「遺伝子組換えの混入を防ぐため分別」という表示も、半数以上の人が入っていないと思うと答えたということです。

このため、団体は消費者庁に意見書を提出し、消費者に正しい情報が伝わるよう表示例の見直しを求めています。

科学・文化ニュース一覧へ戻る